

# シネマズライフ

2018年6月15日発行 第146号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『空飛ぶタイヤ』

やっばり名タイトルかと。

ん?なんで空を飛ぶの?と思うが、それで映画を見たくなるので

Wikipediaを参考にさせていただきました。m(\_ \_)m

【最近のこれはまずいぞ!】

『ウィンチェスターハウス アメリカで最も呪われた屋敷』下の文字列が無駄。

## 映画の風景 日本の風景

※ 東京都 迎賓館赤坂離宮 ※

↑迎賓館 赤坂離宮(羽衣の間 舞踏室)



↑迎賓館 赤坂離宮(和風別館)



「王様と私」という映画があった。こんな映画だ。

一九世紀のシャム(タイ)。王室の子供達の教育の為、教師をしてきたアンナは息子ルイスと共にイギリスからバングコクへとやってきた。しかし、王宮外に住まいを用意するはずだった契約を反故にするつもりだと知り困惑するが、とりあえず住まいになるという王宮に向かう。

王宮ではシャム王が待つていて、アンナの話も聞かず大勢の夫人達と子供達を紹介。アンナも子供達のかわいらしさにほだされ王宮で生活する事に。夫とブテイムを連れてきたルイスと彼女が恋人同士だった事を知り驚く。

王もアンナと言葉を交わすうちに打ち解け、イギリスの脅威にさらされている事で苦慮しているという王の本音を聞き、近々イギリスの大使が来るのでアンナは西洋式のもてなしを提案。そのもくろみは成功したが、王宮内である事件が起

今では少ないミュージカル映画の王道を行く傑作。

国同士の文化をお互いに尊重しながら交流するのは難しい。

迎賓館赤坂離宮は、国同士の理解するには重要な場所。今では簡単に「シャル・ウィ・ダンス?」とはいかないだろうが、理解には確かだ。

『王様と私』1956年 アメリカ 監督:ウォルター・ラング 原作:マーガレット・ランドン  
出演:ユル・プリナー デボラ・カー リタ・モレノ マーティン・ベンソン

モデルになったラーマ4世はアンナを【気難しい】と思っていたようで、もちろん「シャル・ウィ・ダンス?」もなかった訳で...

孤独の末に自作『非現実の王国』中の少女達だけが友

世界中で「読めない文字」「読み人がいない文字」「人が理解できない文学」

多くの文書・本・絵画などが多くあり、それらの文書・本・絵画に魅かれる人々もいるから不思議である。

しかし、「読み人がいない文字」は悲しい歴史があったりこれは別として、「読めない文字」「人が理解できない文学」。これらの作品を見ると作者はいつか一人に知ってほしいのか知ってほしいのか?と思える。

人に知ってほしいのか知ってほしくないのか?と思う件

文書・本もそうだが、「キュピスム」のピカソ、「シュールレアリスム」のミロに代表されるほとんどのものが描いてあるかわからない(ただし、私だけ?)。



それは別にして、ひよつとしてこれらの文書・本・絵画などは多くの人達に知ってほしくはないけれど、理解してくれる人には喜んでもらいたかったのではないかと思える。それは理解できる人間だけの(密かな楽しみ)ではある。

分かってくれる人だけいけばいいというのには、確かにそれは個人的に楽な生き方なのだろうが、谷であるはずの政治が仲間の政治家と支持者だけがわかっていれればいいというのは、これは非常に迷惑な話である。

そういう政治家が最近多すぎる気がする。

終

達だつたのだろうと思うヘンリー!ダーガーは分かる気もするが、『ヴォイニッチ手稿』の友人をからかう為に書いた」というのは、結局、必死に解読に挑む人々を永遠にからかう為に作られている訳で悪趣味もない所だ。しかし、そうではないという説もありは永遠に謎の本として残るとすると、はたして本を書いた作家の面目躍如なのだろうか?

↑【映画の風景 日本の風景】画像使用サイトですm(\_ \_)m.  
出典:内閣府迎賓館ウェブサイト(和風別館 [https://www.gojinkan.go.jp/akasaka/japanese\\_annex/](https://www.gojinkan.go.jp/akasaka/japanese_annex/) 羽衣の間 [https://www.gojinkan.go.jp/akasaka/hagromo\\_no\\_ma/](https://www.gojinkan.go.jp/akasaka/hagromo_no_ma/))

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

『無限の住人』

WOWOW

2017年 日本

監督:三池崇史

出演:木村拓哉 杉咲花 福士蒼汰 市原隼人 戸田恵梨香  
北村一輝 栗山千明 満島真之介 市川海老蔵 田中泯 山崎秀

6月21日(木) 10:30

7月21日(土) 28:35 ⇒ 7月22日(日) 4:35

【シネマ】

【プライム】

万次は旗本・堀井重信の同心(部下)だったが、堀井の不正を知り切り殺し、追われる身となる。やがて妹の夫をも切り、気のふれた妹も追っ手に殺される。そんな万次を見て不老不死の老婆・八百比丘尼によって万次も不老不死にされる。それから何十年も経ち、道場主だった父親を殺された浅野凜は、復讐したいのなら万次を見つけて出せと八百比丘尼に告げられ、万次を見つけて出し復讐を依頼。万次も生きる意欲を無くしていたが、必死に頼む妹にそっくりな凜に協力する事に。

母も殺された事を知った凜の敵(かたき)は、逸刀流一派とその統主の天津影久。万次の元には、次々と刺客が送り込まれるが万次はすべて切り捨てていった。が、度々の攻撃にさすがに彼の体も満身創痍となって…。

不老不死のヒーローを木村拓哉はまさに満身創痍の熱演。演技とはいえ、300人相手の斬殺シーンは大変だったと思います。

『ベン・ハー』

スターチャンネル

1959年 アメリカ

監督:ウィリアム・ワイラー 原作:ルー・ウォレス

出演:チャールトン・ヘストン スティーブン・ボイド

ジャック・ホーキンス マーサ・スコット キャシー・オドネル

6月18日(月) 15:30 (吹)

6月22日(金) 17:15

6月27日(水) 25:45 (吹) ⇒ 6月28日(木) 1:45

6月30日(土) 8:30

7月4日(水) 27:10 ⇒ 7月5日(木) 3:10

7月10日(火) 6:15 (吹)

7月14日(土) 7:00

7月18日(水) 15:30 (吹)

7月22日(日) 6:00 (吹)

【チャンネル3】

【チャンネル2】

【チャンネル3】

【チャンネル2】

【チャンネル2】

【チャンネル3】

【チャンネル2】

【チャンネル3】

【チャンネル3】

ローマ帝国に支配されていたイスラエル国に住むベン・ハーはローマの軍司令官として戻ってきた旧友メッサラと再会する。メッサラは、ベン・ハーにローマに協力するように求めるが、ユダヤ人としてそれは受け入れられる事ではなかった。やがて、新総督がやってきた日。ベン・ハーの館から総督に瓦が滑り落ち、彼はその罪を問われ奴隷となり、ガレー船の漕ぎ手としてイスラエルから追放され苦難の日々が始まる…。アカデミー賞で11部門のオスカーを受賞したアメリカらしい名作。

精悍な風貌のチャールトン・ヘストンは長くアメリカ人代表の印象が強く、この時代はアメリカ人にとってもいい時代だったかもしれない。

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認をお願いします。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメント下さい。感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! 貴樹諒音

1977年 日本  
監督 製作:野村胡堂  
原作:船橋和郎

『鬼畜』

出演:緒形拳 岩下志麻 岩瀬浩規 吉沢典典  
横江敏三 小川真由美 大竹しのぶ

竹下宗吉は苦勞の末、小さな町で印刷屋を営んでいた。妻は気の強いお梅で、印刷屋も順調だった。ある日、料理屋の女中・菊代を気に入る愛人になり、子供も利一(六歳)良子(四歳)庄二(二歳半)の三人が生まれる。ところが、店で火事が起こり、菊代が傾き始め、菊代にお金を払えなくなつた。三人の子を抱えた菊代は生活に窮し、子供達を連れて宗吉の家に怒鳴り込んで来た。浮気され、三人も子供がいる事を知つた梅は激怒。居座つた菊代を無視し、宗吉もどうする事も出来ない。あきれ果てた菊



代は、子供達を宗吉の家に残し、そのまま行方不明になつてしまふ。宗吉は家に残された三人の面倒を見る事になる。が、仕事をしながら面倒を見る事もできずと三人目の庄二が衰弱していく。ある日、庄二が事故で死んでしまうし、おかしな所があり、宗吉はお梅を疑うが問い詰める訳にもいかない。それで降宗吉の家はますます地獄と化すが…。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ146号  
 発行人: 貴樹諒音  
 発行日: 2018年6月15日  
 cinemaz-life@movie.nifty.jp  
 告知ブログ  
 http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



【編集後記】  
 ☆「王様と私」でアンナ演じるデボラ・カーの歌は「マーニ・ニクソン」の「はは有名な話だが、そのうのは本人の親がデボラ・カーの映画が「ボラ・カー」が主演した「バラード」の吹替えの件は「契約書にサインさせられた」と、親しくなつた「マーニ」に同席したからか? 新聞社に暴露したからかなかなかやるねと思う。皆様お元気でお過ごし下さい。かしこ

★次回発行は7月6日です。発行予定は第1・3金曜日です。

